

# J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取中央） 1月号

## 1. 女性会が米と手作り雑巾を社会福祉協議会などへ寄付！

J A 鳥取中央女性会では「米一握り運動」で集めた米と会員の手作り雑巾を、地域の各施設へ届ける活動を続けている。

雑巾は手縫いやミシンなどを使い、会員一人ひとりが丁寧にタオルを縫い合わせた。

12月7日には、倉吉市の5支部が倉吉市社会福祉協議会へ400枚の雑巾と170kgの米を贈呈した。倉吉市社協の坂本操会長は「毎年雑巾を頂いておりありがたい。給食ボランティアの調理場の清掃用として雑巾を活用させて頂き、米も給食の食材で使わせて頂く」と話した。

令和2年度は、中央管内の13支部において米を10施設へ365kg、雑巾を社会福祉協議会や小中学校など20施設先へ計2,362枚贈呈した。



## 2. 大栄支所共済課がXmasキャンペーンを実施！

大栄支所共済課は12月24日と25日、「J A 共済だいえい Xmas キャンペーン」を行い、支所に来店した子どもにお菓子の詰め合わせなどをプレゼントし、地域との絆を深めた。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で地域住民とのふれあいの場が大幅に減少したことを受け、当キャンペーンを企画した。

当日は、サンタやトナカイに扮した職員が子どもたちに「メリークリスマス！」と声をかけながらプレゼントを配布した。保護者にはJ A 共済のチラシを配るなどして情報提供を行った。

同支所の河野支所長は「今後も季節に合わせたイベントで地域の人や子どもとのふれあいを大事にしたい」と話した。



## 3. 鳥取中央育英高等学校に特産品を贈り激励しました！

J A 鳥取中央は12月28日、鳥取県立鳥取中央育英高等学校男子バレーボール部が全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場することを受け、地域貢献活動の一環として「鳥取中央」つながりとして同部に特産品を贈呈し激励した。

同部を代表して3年生の神谷さん、宮本さん、田中さんに県産ブランド米「星空舞」10kg、長芋「ねばりっこ」10kg、豚カツ用豚肉10kgを贈った。特産品はそれぞれ、「星空舞のように空高く舞い輝き」、「ねばりっこのごとく粘り強く」、「豚カツを食べて勝利を勝ち取れ」という意味を込めた。



同JAの栗原組合長は「全国大会で勝利していただき少しでも地域が元気になればと思っている。鳥取中央の名を全国に広めてほしい」とエールを送った。